

ひかり その 晃の園だより



例年よりも比較的緩やかに冬が訪れています。天気予報でも『平年より高い気温』という言葉をよく耳にします。さくっと寒くならない分だけ、気持ちや身体にも上手にスイッチが入りきらない今年の冬です。

あるユニットで頂き物の柿を食べることになりました。職員が果物ナイフを用意して、いざ皮むきの始まり始まり…ところがご存知のように、皮をむいた柿は滑りやすく少し持ちにくくなります。家事の大先輩方が見守る中、懸命に皮をむいていくのですが、上手くいきません。ぎこちない手つきでむかれる皮には、実もたくさんついていきます。それを見ていた入居者様も『あんたがむくと、実がなくなりそうだね』と大笑い。そして『でも、怪我をしなけりゃいいよ』と温かい言葉をいただいたのでした。どうにか無事に皮のむけた柿の実はとても甘くて美味しくて、皆で楽しくいただきました。

いよいよ平成最後の師走。一日一日の大切さは何ら変わることはないのですが、それでもいつもとは少しだけ違う心持ちを上手に活かして、いつもとちょっと違う年の瀬にしてみませんか。

晃の園の

秋いろいろ

食欲、運動、芸術などなど、気候のよい秋は、様々なことが自然と楽しめる季節です。勿論年齢も関係ありません。晃の園でも、あちこちで秋を楽しまれる様子が見ることができました。



秋を代表する食べ物といえば、やっぱり焼き芋。おまけに焼き立てあつあつとなれば、美味しさに決まっていますね。



運動の秋。地元の小学校の生徒たちが遊びに来てくれました。子供たちの考えてくれたゲームの楽しい事といたら。



秋の芸術鑑賞。デイサービスの利用者様たちが活動で作成した作品を見て、感心することしきり。やってみたくになりますね。



厨房の方が天ぷらを目の前で調理。フットに広がる揚げる音と香、そして笑顔。熱々の揚げたてをいただきました。



気候のよい秋には、園芸の作業もはかどります。花壇に球根を植え付け…でも、その前に雑草を取る仕事がありました。



散歩の先のお楽しみ

馴染みの関係が作りやすい小さなユニットでの暮らし。顔なじみとなった入居者様や職員との気兼ねない毎日。



でも、散歩のついでに隣のユニットを訪ねてみれば、いつもと違う笑顔と会話が待っています。『よく来たね、元気してる?』

そんな嬉しい会話や笑顔が、散歩の楽しみを膨らませてくれます。



呑んで唄って、健康に！

久しぶりのスナック企画。お酒を呑んで、おつまみを食べて、唄を楽しむ。皆さん、良い感じのほろ酔いで帰られました。

皆さんが唄われる様子を見てみると、唄っていくにつれ徐々に活舌が良くなり声量が上がってくるのがよく分かります。声を出すことって本当に大事なのですね。



普段の生活から

私たちの暮らしは、なにげない毎日の積み重ねでできています



以前はご自分で着物を作っていたという入居者様。日課の刺し子もお手のもの。リラックスした様子で針仕事を進めていらっしゃいます。そのひと針ひと針が、どんな想いに繋がっているのでしょうか…。いつかそんな話もお聞きしたいです。



皆さんが毎週日曜日に楽しみにしているのが NHK の“のど自慢”。「綺麗なお嬢さんだ」「歌が上手だな」と楽しくおしゃべりしながら見ていらっしゃいます。中には、出場者さんが歌うと必ず手を叩いて応援してる方もいて…本当に楽しそうです。



少し寂しかった談話室の風景が職員さんの工夫のおかげで一気に華やかになりました。自然と入居者様たちが集まり、気づいたら職員もソファに腰掛け会話を楽しんでいました。毎日きれいなお花を楽しめるようお手入れ頑張ります。

晃の園ショートステイ通信



慣れ親しんだ土いじり

チューリップの球根をわけていただいたので、裏庭の花壇に植えることにしました。手伝っていただいた利用者様は慣れた手つきであつという間に土を掘り、球根たちは次々と土の中に納まっていきました。

料理・洗濯・掃除・園芸などなど、“慣れ親しんだ感触”は、心を落ち着かせてくれますね。



秋はやっぱり焼き芋

日ごとに冬の気配が濃厚となる今日この頃。こんな季節には、やっぱり温かいものが一番ですよ。というわけで、秋恒例の焼き芋の登場です。利用者様と一緒にサツマイモを準備して、自慢のドラム管で焼き上げました。あつあつを召し上がれ。



防災豆知識

“避難所”と“福祉避難所”

福祉避難所とは、市町村が必要に応じて保健福祉センターや民間の福祉施設などに開設する二次的な避難所です。障害者や高齢者、妊産婦や乳幼児、病弱な人とその家族らのうち、一般の避難所生活が困難な人が対象となります。まずは配慮が必要な人も一般避難所で生活し、その後、自治体側が対象者を選びます。



先日晃の園では、地元に向ける“福祉避難所の説明会”を開催しました。当日は参加していただいた町内会長様や民生委員様、そして包括支援センターの職員様へ、晃の園に福祉避難所が設置された時に予測される受け入れの状況などを説明させていただきました。いざという時に、晃の園が福祉避難所として地域との連携が有効に図れるよう、準備を進めています。